

勝間田小・勝央北小放課後子ども教室 子どもの居場所づくりと豊かな体験の場を!

勝央町公民館

他組織との連携で生み出した新講座! 「Kidsアグリ体験プロジェクト」

勝央町には、**放課後の子どもの居場所づくり**として、「子どもわくわくスクール（R5放課後子ども教室推進事業）」があります。町内にある2小学校でそれぞれ毎週水曜日に行われている取組についてご紹介します。

まず、勝央北小学校の児童対象のわくわくスクール「北小教室」には、小学校1～5年生までの子ども達19名が参加しています。学校から開催場所となるコミュニティセンターまでの約1kmをスタッフと学校での様子を話しながら歩きます。教室ではスタッフによる学習支援や体験活動を行います。地域行事への参加をきっかけに地域とのつながりを濃くした北小教室は、夏祭りの「灯籠づくり」や文化祭への作品出品等で参画し、地域ボランティアとの交流等、**地域密着型での活動**を展開しています。

次に、勝間田小学校の児童対象のわくわくスクール「勝小教室」

には、小学校1～4年生の32名の子ども達が参加しています。勝小教室では、学習習慣の定着、異学年の子どもや地域ボランティアとの交流、季節の行事に合わせた活動を展開しています。夏休みには昔遊びの水鉄砲をしたり、11月には高校生と複数回ポッチャを行ったりする等、**地域の高校と連携**した活動をしています。

これらの活動をコーディネートするのは、各教室の**放課後子ども教室コーディネーター**です。毎週どのようにして「子ども達の居場所づくり」と「豊かな体験の場」を設定するか等、「**わくわくスクール**」が、**子どもにとって大切な時間を過ごせる特別な場所**となるよう、他のスタッフとともに考えられています。



「北小教室」の様子



「勝小教室」の様子



「Kidsアグリ体験プロジェクト」は、**教育委員会とアグリ魅力化支援会、勝間田高校の3者による農業収穫体験講座**です。3年目を迎えたこの取組は、町有地の活用を模索する中で、教育委員会だけでなく各関係部局、また、地元の勝間田高校や農業問題の解決のためのプロジェクトを行うアグリ魅力化支援会など、**組織を越えてさまざまなアイデアを出し合い、生み出された産学官連携によるプロジェクト**です。

実際の活動は、校内募集で参加を希望した勝間田高校生が中心となって進めています。毎回、約12名前後の生徒が参加し、畑の管理（土づくり、マルチかけ、植付け、水やり、雑草取り等）を含め、毎週1回、放課後1時間程度の継続した作業を行っています。

初年度は、土地の整備や畑づくりから行い、2年目には、参加者が植付け作業から体験するといった内容で年7回開催されたようです。3年目を迎え、今年度は4回の開催で、高校生が育てた作物の収穫体験を行っています。今年度育てた作物は、じゃがいもや玉ねぎ、



とうもろこし、すいか、さつまいも、白菜などです。実は、販売も行っている取組で、官民で組織するアグリ魅力化支援会の協力のもと、収穫作物の販売等が実現しています。**活用を模索していた土地が高校生の活躍の場や多くの親子が集い、豊かな体験ができる場として活かされ、さらに、地域の各組織が連携して支えている特色ある事例**となっています。



活動をとおして、**高校生は楽しみながらスキルアップし、学びを重ねています**。参加する子ども達に「農業を好きになってほしい」「豊かな体験をしてほしい」そして、「ゆくゆくは農業に携わる就労者を増やしたい」さらに、「地域を元気にしたい」。そういった思いも勝間田高校にはあります。地域で展開されるこの取組の今後が楽しみです。

★★ わたしのモットー ★★ 公民館を拠点としたつながりづくり

勝央町公民館職員 光嶋 優太

教育委員会に配属になって2年目となります。生涯学習・社会教育の業務は初めてですが、4年前、子どもの居場所づくりをテーマに卒業論文を書くにあたり、ゼミの先生から勧められ、先進的な勝央町の取組を見させていただきました。その時の「子どもわくわくスクール」に、現在、担当者として関わっています。

公民館を子どもたちの居場所や生涯学習の拠点にすることはもちろん、そこでの活動を通じて生まれたつながりの輪が地域に広がっていき、**地域課題の解決や地域活性化につながる、そして、また新たなつながりの輪が生まれること**を目指しています。そのために、まず、「**自分が**」子どもから高齢者までの幅広い年代の**公民館利用者**とつながることを大切にしています。



家庭教育支援チーム「あすなろ」リーダー 田中 和子さん

勝央町家庭教育支援チーム「あすなろ」 学校・家庭・地域との情報共有を課題解決に活かす

勝央町家庭教育支援チーム「あすなろ」は、年4回、**小中学生がいる全家庭を訪問し、チームで作成した情報誌を配付する活動**をしています。情報誌作成では、今、家庭にどんな話題を届けるべきかをチームで相談して決めています。チーム員で分担して訪問していますが、その際、各家庭から受け取ったさまざまな声を大切に、今後の活動や課題解決につなげられるよう、できることを行いたいと考えています。また、私自身は、学校と密な情報共有を行う立場でもあります。**各校を定期的に訪問し、子ども達の様子を参観したり先生方と情報共有を行ったり**しています。

チームとしても個人としても、何ができているのか成果が見えにくく、実感しにくいところもありますが、チーム発足8年目となり、「あすなろです。」と言うと認知してもらいやすくなりました。**地域のために動ける喜び、お役に立てる喜びを感じ、これからも学校・家庭・地域のつながりを支えていきたい**と思っています。



奈義町公民館

“触れて、感じて、つなげていく” 伝統文化の継承を支える「こども太鼓教室」

“だれでも・いつでも・いつまでも”スポーツに親しむ なぎスポーツクラブ「チャレンジ体操教室」

奈義町の伝統文化として「横仙歌舞伎」とともに継承されているのが「和太鼓」です。奈義町では、“地域住民参画のもと、子どもたちが安全・安心に過ごし、多様な体験・活動ができるよう行われている「放課後子ども教室」”として、**公民館を拠点に「こども太鼓教室」が開催されています。**(「おかやま子ども応援事業」活用)

この教室は、平成13年のスタートから**地元の太鼓継承団体「歌舞鼓音座(かぶくんざ)」**が関わっています。コロナ禍もあり、一時は小学生5人という状況もありましたが、現在は小学生15名で、週1回1時間の稽古で技を磨いています。

中学生になると、歌舞鼓音座に加入し、よりレベルの高い技に挑戦します。大人の力強く迫力のある演技に刺激を受けたり憧れを抱いたりする等、家族や先生以外の目標となる大人に出会う場にもなっています。

現在、親戚について来た3歳の子どもさんや、わが子の稽古を見守っていた保護者の方なども稽古に参加しています。**太鼓に出会い、楽しみながら続けてきた子ども達**の中には、大人になって、**今度は歌舞鼓音座で指導者として**子ども達に関わっている方もおられます。「触れて、感じて、つなげていく」この好循環の今後の展開が楽しみです。



20年以上にわたり継続開催されている老舗教室「チャレンジ体操教室」は、「『だれでも、いつでも、いつまでも』スポーツに親しむことができ、生きがいと健康及び仲間づくり、青少年の健やかな成長、明るく活気ある地域づくりをめざす」なぎスポーツクラブで行われている教室の一つです。毎月2回開催されるこの講座は、**幼児から小学生までの子ども達が、マット運動や跳び箱、トランポリン等の運動に親しむ**ことができます。毎回20人程度の子ども達が参加していますが、上級生や教室の卒業生である中学生が、年下の子ども達のお世話をする風土が根付いています。

さらに、**この教室を卒業する子ども達には、別にある「アクロバット教室」でより高度な技にチャレンジする場**があり、こちらには小学生以上が参加できるようになっています。子どもの時からさまざまなことに挑戦でき、また、地域の中高生や大人と交流できる場にもなっています。こういった経験を経て、現在、指導者として子ども達に関わっている方もいらっしゃいます。後継者となる人材の育成が進められています。



【なぎスポーツクラブ主催のスポーツ教室】

講座名	対象年齢	開催日時	講師
1 ウォーキング	一般	毎週水曜 9:00-11:00	津山第一高等学校体育部顧問・山崎 浩一
2 グラウンドゴルフ	全学年	毎週水曜 9:00-11:30	日本ゴルフ協会認定インストラクター・山崎 浩一
3 ★チャレンジ体操	小学生以下	毎月土曜 9:00-11:30	なぎスポーツクラブ 指導員
4 日輪西し侍舞	高校生以上	毎月土曜 10:00-11:30	なぎスポーツクラブ 指導員
5 卓球	全学年	毎週水曜 19:30-21:00	なぎスポーツクラブ 指導員
6 ソフトテニス	小学生以上	毎週水曜 19:00-21:00	なぎスポーツクラブ 指導員
7 エアロビクス	全学年	毎月土曜 9:00-10:00	なぎスポーツクラブ 指導員
8 スケートボード	5歳以上	毎月土曜 13:00-14:00	なぎスポーツクラブ 指導員
9 ★B&Gクラブ	小学生以上	毎月土曜 9:00-10:00	なぎスポーツクラブ 指導員
10 ★アクロバット	小学生以上	毎月土曜 13:00-14:00	なぎスポーツクラブ 指導員
11 3B体操健康づくり	一般	毎月土曜 19:30-21:00	なぎスポーツクラブ 指導員
12 水泳	小学生以上	毎月土曜 9:00-10:00	なぎスポーツクラブ 指導員
13 お楽しみスポーツ	全学年	毎月土曜 10:00-11:00	なぎスポーツクラブ 指導員
14 ウクレレ	小学生以上	毎月土曜 18:00-19:00	なぎスポーツクラブ 指導員

※開催日は、季節の変わり目により変更する場合があります。
※参加費は別途お支払いとなります。

自慢の 人材紹介コーナー 「教える」のではなく「任せる」～子どもの本気を信じる～



歌舞鼓音座(かぶくんざ) 座長 小林 猛さん

奈義町で生まれ育ち、初めて太鼓に触れたのは19才の時です。和太鼓をしていた同級生から誘われ、付き合いで始めたのが太鼓との出会いでした。まさか22年間も続け、さらに子ども達に関わるとは！小学生の稽古は、**子ども達の集中力を考え1時間という限られた時間**にしています。その時間の中で、先生として口をはさんで「教える」のではなく、**子ども達が本気で“学びたい”と思えるよう意識し「任せる」**ようにしています。平均年齢21才の若い組織ではありますが、自分で考える、仲間と相談する等の機会も大切に、**地域の伝統文化を守っていく人材として互いに育ち合いたい**と考えています。

奈義の強みを活かした居場所づくり・つながりづくりを目指したい

これまでに、奈義町立図書館、奈義現代美術館での業務経験はありましたが、二度目の生涯学習課配属の今年度は課長職となり、改めて生涯学習・社会教育の大切さに気付かされる日々を送っています。

奈義町には、文化センター、図書館、美術館、B&G海洋センター等、さまざまな社会教育施設があり、それぞれにコラボした企画も行ってきました。改めて思うことは、これらの**社会教育施設の役割を掘り下げて**いき、奈義町の伝統文化やアート、スポーツや情報等の発信地とし、同時に**奈義町ならではの居場所づくり・つながりづくりの拠点**としたいと思っています。これからも町民の皆さんの暮らしをより豊かにしていくよう努めていきたいと思っています。



奈義町教育委員会 生涯学習課長 飯綱 陽子さん

学校運営協議会での熟議を活動へ 地域と学校の連携・協働と人材育成

奈義小学校では、教育課程と地域の伝統行事を結び付け、**「地域との絆を深め、地域の活性化をはかる取組」として**、5年生の「米作り」の学習との関連させ、学校行事として「とんど」を行っています。それまでの、田植え・稲刈り・お飾りづくり等は、**一年間をとおして地域の方と一緒に交流しながら重ねてきた活動の一環**となります。

子ども達にとって、最後の締めくくりの活動となる「とんど」では、全校児童が習字の作品を持ち寄ります。伝統行事「とんど」をとおして**「書の町」である奈義町を愛する心情**を培っています。



奈義中学校では、**1年生で「コミュニケーション教育」**に取り組んでいます。この授業では、地域の方へのインタビューから得た学びや気付きを演劇として発表し、地域の方と交流を深めながら**「聴くこと」「観察すること」の重要性**を対話的に学びます。活動をとおして、生徒たちの活動への姿勢や、双方向でのコミュニケーションのとり方、また、地域の方との交流等、さまざまな変容が見られます。このような**多様な地域の人材との交流は、子ども達にとっても、また地域の大人にとっても貴重な機会**となっています。



これらの事例は、どちらも**地域学校協働活動推進員が活動をコーディネート**しています。小学校でのお飾りづくりは、子ども達に指導ができるよう事前練習の場を設け、人材育成や生きがいづくりにつなげています。中学校では、授業の趣旨に沿う多様な人材選定を行っています。**普段から地域人材の発掘の視点をもって活動**されていることが素晴らしいです。

